



みなみいず 町議会だより

No. **53**号

2013年
平成25. 5. 15

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail: gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



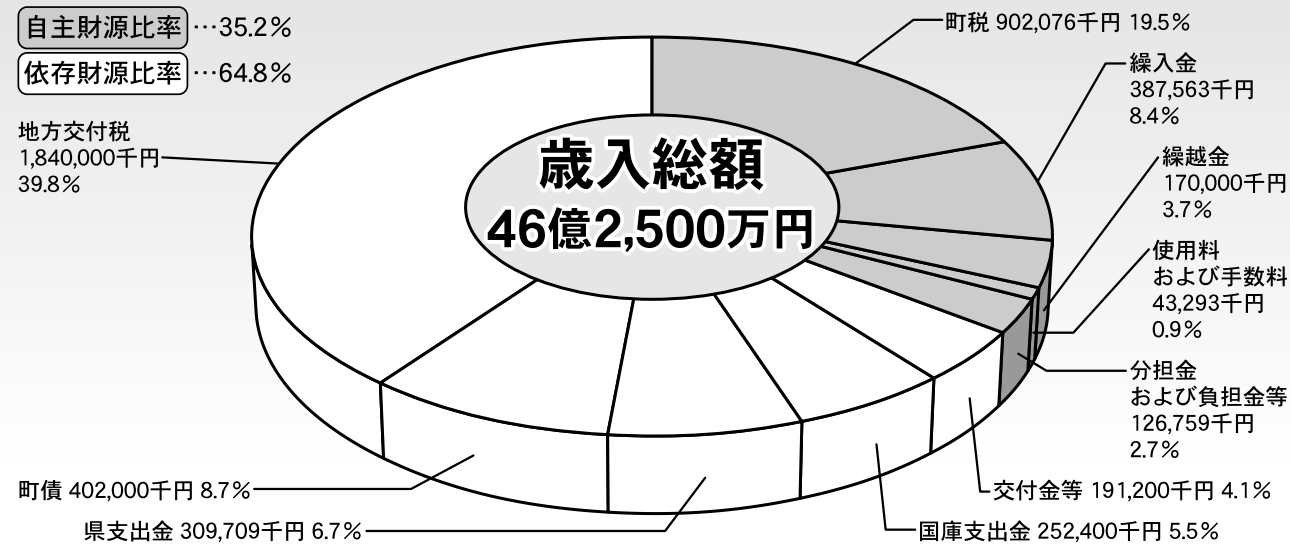
平成25年度南中小学校入学式

3月定例会を3月1日から3月18日まで18日間の会期で開催しました。

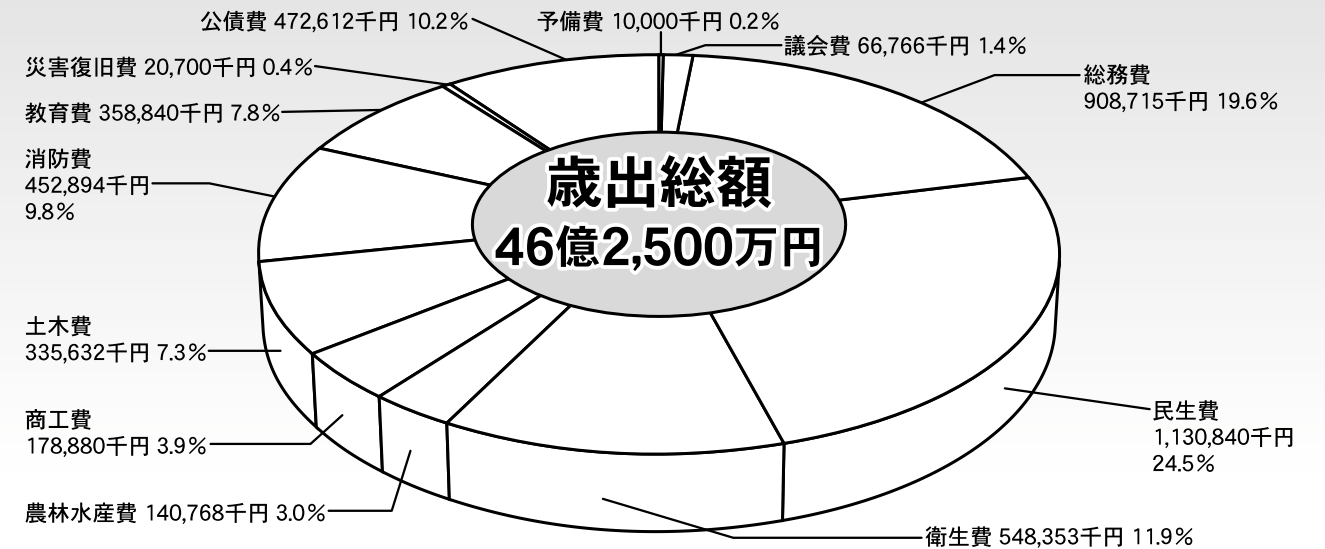
- 主な内容 ● 3月定例会2～4
- 予算決算常任委員会審議内容5～9
- 一般質問10～13
- 議会一口メモ、くろ潮14

平成25年度 一般会計・特別会計・水道事業 会計予算成立 総額82億3,919万4千円

■ 一般会計……………46億2,500万円 (前年比+10.8%)



● 防災・減災・経済・鳥獣害対策に配慮



■ 特別会計(11会計)……………32億5,826万4千円 (前年比+9.9%)

■ 水道事業会計……………3億5,593万円 (前年比-4.0%)

- ② 第一常任委員会審議**

 - ▼南伊豆町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町新型インフルエンザ等対策本部条例制定について
全員賛成で可決
- ① 条例及び規約制定・改正**

 - ▼南伊豆町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町準用河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
全員賛成で可決
 - ▼賀茂地区障害者計画等策定・推進協議会規約の一部を変更する規約制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について
全員賛成で可決

- ② 第一常任委員会審議**

 - ▼南伊豆町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について
全員賛成で可決
- ① 条例及び規約制定・改正**

 - ▼南伊豆町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町準用河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
全員賛成で可決
 - ▼賀茂地区障害者計画等策定・推進協議会規約の一部を変更する規約制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例制定について
全員賛成で可決
 - ▼南伊豆町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について
全員賛成で可決

③ 第二常任委員会審議

- ▼南伊豆町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定について
全員賛成で可決

④ 予算決算常任委員会審議

- ▼一般会計予算
○総務・福祉・教育分野 ○民生・衛生分野 ○産業・土木分野
全員賛成で可決
- ▼特別会計
○国民健康保険 ○介護保険 ○後期高齢者医療
○南上財産区 ○南崎財産区 ○三坂財産区 ○土地取得
○公共下水道事業 ○子浦漁業集落排水事業
○中木漁業集落排水事業 ○妻良漁業集落排水事業
一部を除き全員賛成で可決
- ▼水道事業会計
○上水道・簡易水道に関すること
全員賛成で可決

⑤ 意見書・発議

- ▼南伊豆町議会委員会の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町議会会議規則の一部を改正する規則について
全員賛成で可決
- ▼国道414号(河津～天城湯ヶ島間)の登坂車線整備促進に関する意見書の提出について
全員賛成で可決

一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算可決

※3月補正予算は年度末で各種事業等の確定によるものです。

- 一般会計…………… 3,749万円
(全員賛成)
- 特別会計…………… 3,111万4千円
(全員賛成)
- 国民健康保険…………… 6,874万2千円 ● 介護保険…………… 1,555万8千円
- 後期高齢者医療…………… ▲167万2千円 ● 南上財産区…………… 25万5千円
- 公共下水道事業… ▲5,176万9千円
- 水道事業会計…………… ● 収益的收入…………… ▲799万2千円
- 収益的支出…………… ▲298万6千円
(全員賛成)

一般会計予算

第1款・議会費、第2款・総務費、第8款・消防費、第11款・公債費、第12款・予備費及び関連歳入について

- 問 議員共済負担金への質問がなされた。
- 答 国レベルで明確ではない。
- 問 電気自動車購入、電気スタンド設置への質問がなされた。
- 答 インフラ整備、誘客対策のため。
- 問 労働契約法への質問がなされた。
- 答 公務員は適用除外である。

問 庁舎夜間警備業務への質問がなされた。

答 内容は、警備、防火、戸締り、戸籍受領等である。災害時等の登庁体制については、防災計画等のマニュアルにより対応する。

問 地方交付税への質問がなされた。

答 前年並みを計上した。

問 投資的経費への質問がなされた。

答 津波避難タワー建設、施設長寿命化などを進める。

問 公用車クラウンの廃車への質問がなされた。

答 現有公用車との使い分けをしながら対応していく。

問 負担金補助及び交付金への質問がなされた。

答 担当と審査し、基本的には5千万円の枠で端数は1万円単位。

問 財産管理事務で解体への質問がなされた。

答 解体後の跡地利用については、地元の意見を聞いて実施する。

問 庁舎補修費への質問がなされた。

答 想定外個所の補修である。

問 自治総合センターのコミュニティ助成事業への質問がなされた。

答 各地区からの要望による宝くじの助成金である。

問 賀茂地区航空写真共同撮影業務委託料への質問がなされた。

答 1市5町共同事業で南伊豆町が幹事として取りまとめ実施する。

問 全国半島振興協議会負担金への質問がなされた。

答 理事会・総会の開催及び国への意見書を提出している。

問 職員自主研修助成金への質問がなされた。

答 自発的な研修への助成である。

問 地方税電子申告支援サービス利用料への質問がなされた。

答 システム利用料である。

問 地方税滞納整理機構負担金への質問がなされた。

答 一件あたりの均等割りと徴収実績割りである。

問 防災フェアへの質問がなされた。

答 防災意識の高揚を図るためのものである。



問 人命を救う考えから防災ヘリコプターの夜間運行への質問がなされた。

答 医療と防災の立場から考えていく。

問 津波避難ビル機能整備事業補助金への質問がなされた。

答 民間施設の自主的な整備への補助金である。

第3款・民生費、第4款・衛生費、第9款・教育費及び関連歳入について

問 災害援護資金貸付金元利収入への質問がなされた。

答 残はある、時効の制限はない。

問 伊豆つくし会補助金減への質問がなされた。

答 建設資金の起債の償還金が平成25年度で終了予定のため。

問 認定こども園空調設備への質問がなされた。

答 当初は必要ないと判断し設置しなかったが、想定外の室温上昇により3〜5

歳児用の部屋にも必要となったため。

問 放課後児童クラブ利用者への質問がなされた。

答 通常は38名程度である。



問 太陽光発電設備設置工事設計への質問がなされた。

答 認定こども園に予定している。

問 臨時保育士賃金をまとめた理由への質問がなされた。

答 運営上共通する経費をまとめた。

問 高齢者福祉事業への質問がなされた。

答 利用者が多い。今後も継続して対応していく。



問 ESD教育に対する質問がなされた。

答 学校現場でも率先して取り組んでいく。

問 日詰遺跡出土品保存への質問がなされた。

答 ショーケースを購入し庁舎内に展示する。

問 教育資金利子補助金への質問がなされた。

答 利用者も増えている。利用しやすくPRしていく。

答 町単事業で主に予防を考え進める。

問 在宅食事サービス事業の重点への質問がなされた。

答 現在は現状がベストであるので進めていく。

問 次世代育成支援行動計画の今後の展望への質問がなされた。

答 産み易く育てやすい方向を考えていく。

問 大気汚染検査の内容への質問がなされた。

答 焼却施設から出る物質の検査である。

問 地域自殺対策緊急強化基金事業補助金への質問がなされた。

答 印刷製本費でパンフレット作成、使用料及び賃借料で啓発用の映画ビデオを借り上げるものである。

問 ヘルスアップ健診委託料への質問がなされた。

第5款・農林水産業費、第6款・商工費及びその関連歳入について

問 グリーンツーリズム協会負担金の質問がなされた。

答 中山間地域の活性化を図るためのものである。

問 稚貝稚魚放流事業補助金の質問がなされた。

答 平成25年度もマダイ、イセエビ、及びアワビの放流のものである。

問 巻き網船漁業への質問がなされた。

答 関係団体と話し合いながら対応していく。

問 遊休農地美化業務委託料への質問がなされた。

答 土壌改良、排水路整備等を行っていく。

問 農業振興地域整備計画策定業務委託料への質問がなされた。

答 若い人を対象とした健診である。

問 一部事務組合下田メデイカルセンターの負担金と出資金への質問がなされた。

答 負担金及び出資金は普通交付税の算定に用いる基準財政需要額と特別交付税に基づき決定されており、負担金は起債償還金利子、救急告示病床数、病院病床数等に係る額。出資金は起債償還金のうち元金に相当する額によるものである。

問 焼却施設補修工事に工アーカーテンの修理は入っているかとの質問がなされた。

答 エアーカーテンは入っていない。

問 焼却施設補修工事は入札か随時意契約かとの質問がなされた。

答 平成24年度は随意契約である。平成25年度以降も

答 農業振興計画見直しの基礎調査である。

問 青年就農給付金への質問がなされた。

答 4人対象で1人150万円、国からの全額補助金である。

問 森林整備地域活動支援推進事業補助金への質問がなされた。

答 3事業体で実施するもので5ヶ年計画の策定である。

問 水産業の漁業後継者対策への質問がなされた。

答 関係団体、漁協とも連携を図り進めていく。

問 林道青野・八木山線の進捗状況への質問がなされた。

答 平成28年度完成を目標に進めている。

問 吉祥体験農園管理業務

随意契約でいく。

問 高齢者季節性インフルエンザワクチン接種助成金の減への質問がなされた。

答 支出科目を委託料とした。



問 水産教室の内容への質問がなされた。

答 クルージング、海上アスレチックやイカのひらき教室など実施している。

問 南伊豆中学校グラウンド改修工事への質問がなされた。

答 グラウンド全体の排水設備工事である。

問 逢ヶ浜海岸の文化財指定への質問がなされた。

への質問がなされた。

答 14区画で10名が利用。伊豆南地域有機農業推進協議会での指導により進めている。

問 伊豆半島ジオパークの今後への質問がなされた。

答 3年後の世界認定に向けて進めている。

問 ブランド特産品開発事業への質問がなされた。

答 商工会により3ヶ年計画で愛国米を利用した純米酒づくりに取り組むものである。



問 環駿河湾観光交流活性化事業の内容への質問がなされた。

答 フェリー割引で伊豆半島への観光客の誘客対策のものである。

問 県、信用保証協会事務負担金の内容への質問がなされた。

答 利子補給の事務費負担金である。

問 湯の花観光交流館指定管理委託増額への質問がなされた。

答 平成25年度から足湯の管理も含まれる。

問 湯の花直売所の賃借料の質問がなされた。

答 現在、理事会に検討を依頼している。

問 夜桜流れ星への質問がなされた。

答 実行委員会が自主的に実施している。

問 職員海外派遣調査助成金等への質問がなされた。

答 OWSを含めたインバウンドのもので県の市町村振興協会の補助事業である。

問 早春フラワーウォーキングでゴミ袋の配布をお願いしたい。

答 事務局に提案しておく。



問 小口資金利子補給補助金の申請額が予算以上あった場合の対応への質問がなされた。

答 補正予算で対応する。

第7款・土木費、第10款・災害復旧費及び関連歳入について

問 住宅ストック活用総合計画策定業務委託料と現状についての質問がなされた。

答 現在40棟あり、昭和30年代の棟もある。委託料は町営住宅の建て替え及び廃止、決定への基本計画策定である。

問 青野大師ダムの、ブラックバスの現状についての質問がなされた。

答 今後生息調査などを検討していく。

問 青野川ウオーキングコース上の下賀茂中島地区の橋の設置への質問がなされた。

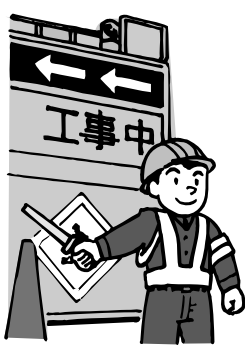
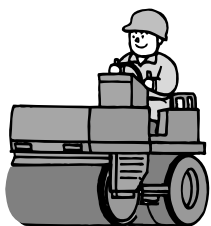
答 今後県に要望していく。

問 青野川の河川管理委託料の内容への質問がなされた。

答 岩殿から湊橋への秋1回の草刈りである。

問 石井区内14号線、道路改良工事への質問がなされた。

答 平成25年度、26年度で全幅9.25mですめる。



問 公営住宅長寿命化計画への質問がなされた。

答 修繕計画の策定である。

問 中木地区土地賃借料の増額への質問がなされた。

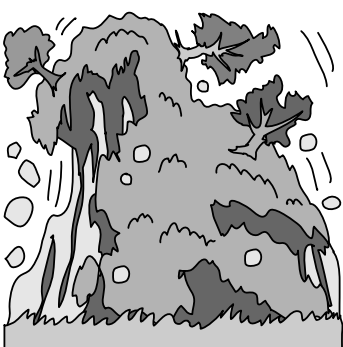
答 評価額の見直しに伴うものである。

問 橋梁維持事業への質問がなされた。

答 優先順位は利用度、被害波及性、効率性、耐久性など県のガイドラインで決めている。

問 急傾斜地崩壊防止事業への質問がなされた。

答 青市地区で1箇所予定しているが、個人負担があるため進んでいない。



問 港湾管理事務で浚渫への質問がなされた。

答 浚渫は維持工事のため負担金ゼロで、負担金は弓ヶ浜の砂浜の減少調査である。

特別会計予算

水道事業会計予算

■平成25年度南伊豆町国民健康保健特別会計予算について

■平成25年度南伊豆町介護保険特別会計予算について

■平成25年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算について

り扱っているため町ではない。

■平成25年度南伊豆町南上財産区特別会計予算について

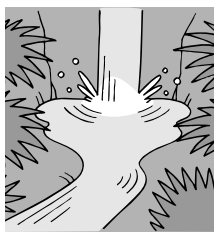
■平成25年度南伊豆町南崎財産区特別会計予算について

■平成25年度南伊豆町三坂財産区特別会計予算について

■平成25年度南伊豆町土地取得特別会計予算について

問 石廊崎の土地取得箇所に水源があるのか質問がなされた。

答 水源は現地確認していないので不明である。



答 年金は年金事務所が取

問 国保税収納時に年金保険料を集めたらどうかの質問がなされた。

答 理学療法士を雇い上げ、通所、訪問事業での介護予防をしていく。

問 介護予防事業の新事業についての質問がなされた。

問 子浦漁排の使用料減の

答 県の河川改修の係による移設である。

問 マンホール移設について質問がなされた。

答 前年度とはほぼ変わらない。

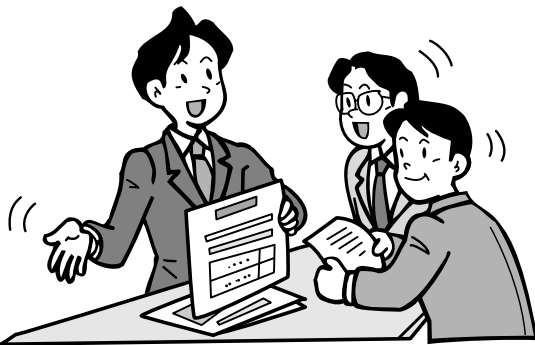
問 公共下水道の加入率について質問がなされた。

■平成25年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業会計特別予算について

■平成25年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計予算について

■平成25年度南伊豆町中木漁業集落排水事業会計特別予算について

■平成25年度南伊豆町公共下水道事業特別会計予算について



質問がなされた。

答 水道の使用量も減少していることから減とした。

問 下水道計画への質問がなされた。

答 平成25年度中に協議し事業計画を策定する。

問 加入率促進への質問がなされた。

答 職員も加入促進に努力している。



問 動力費の電気料が同額であるとの質問がなされた。

答 時効になった料金の不納欠損分の費用のための計上である。

問 過年度損益修正損計上の理由についての質問がなされた。

■平成25年度南伊豆町水道事業会計予算について

●一般質問

町長に聞きました



加 畑 毅 議員

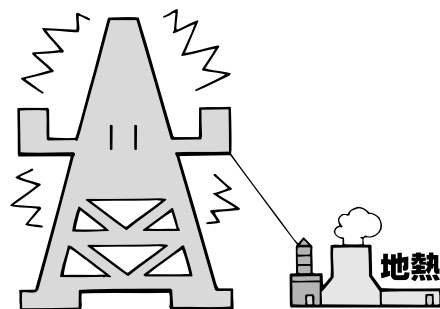
クリーンエネルギー確保の推進

質問 前回の議会定例会で町長は「2月に開催する委員会の結果で当委員会の存続か否かを決める。」と言いましたが、今日現在3月4日の時点でもエネルギー検討委員会は開かれていないのはなぜか。

質問 確認ですが、委員会開催の主導は誰なのか。委員長が招集するのか、調査会社からの依頼で開くのか、当局の担当者から連絡するのか。どこが声をかけて委員会が開催されるのか。

企画調整課長 現時点では内容も昨年10月時点と比べて変化はなく、2月に委員会を開催する理由が見当たりませんでした。3月の委員会を検討します。

企画調整課長 委員会の設置要綱では委員会は委員長が招集することになっており、委員会の事務局は、企画調整課に置くことになっております。



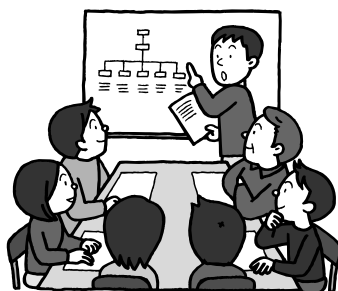
質問 私は2回傍聴したが、委員会側はやる気があるように見える。その委員会からの招集がないのが原因という意味なのか。温泉組合長は前向きな姿勢だが、役場当局は委員会側が消極的であるという認識なのか。

企画調整課長 その辺りにつきましては事務局と委員と話をしながら進めるものと考えています。

質問 現町長時代に策定した第5次南伊豆町総合計画の中でクリーンエネルギーの導入を促進している。また、今年2月22日の読売新聞1面では「大雪山開発調査へ」という見出し。これ

は北海道の国立公園内の上川町で地熱調査が始まった例。ここは南伊豆町よりも後発で地熱調査を開始した。南伊豆町は貴重な資源である温泉を活かす方法を見い出そうとせず、どんどん他所に抜かれていく。委員会すら開こうともしない。その姿勢は町の将来を真剣に考えているとは思えない。「自立したまちづくり」に関して町長の施政方針の中にもあるが、前に進もうとしない。なぜか。

町長 委員は各界の代表者で時間調整があります。2月に開催して、また3月に委員会を招集することになり、皆さんの時間も考えながら総合的な判断で3月の報告を待ってから委員会を開催しようと思いました。



質問 完全に感覚がずれているようで残念です。重要なことなら毎月でもやるべき。結局、去年の委員会開催は2月と10月の2回。今年も2月に開催する約束したのに3月になった今でも開催されていない。その感覚は私には全く理解できない。本当に良い町にしようと思っているとは思えない。

町長 加畑議員が言う内容は他の分野へと方向転換しなければならぬ。我々としては方向を転じることは簡単にはできない。

質問 年間に2回開催の委員会です。十分に議論ができません。去年の2月、10月の2回の委員会開催で十分だということですか。これ以上言っても話がかみ合わないの、ここで質問を止める。答弁は求めない。

伊豆半島ジオパーク世界認定に向けての町の取り組み

※質問し、回答があった。

鳥獣被害対策

質問 野猿の好きな夏野菜の収穫時期がくるが猿用捕獲わなを購入し、駆除を依頼する考えは。

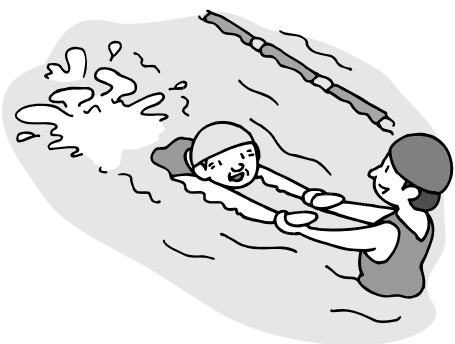
産業観光課長 わなの試作品を作り試験的に捕獲を行い結果がよければ随時、作成します。



防災について

質問 1月23日、教育長に南伊豆東小・中学校PTA会長・両校長連盟で津波避難道の（湊大橋く学校間）の整備について要望書が提出されたが今後の町の考え・対応は。

教育長 要望箇所は急傾斜地であり土砂災害の危険性もあるので緊急の避難場所には、適さないと考えております。今後、両校のPTAとも協議しPTA活動の後押しができる様で得る限り支援したいと考えております。



町長 財政状況を考えると施設を整備することは非常に厳しい。町営温泉を活用した温泉療法を研究し健康増進・介護予防に取り組んで行きたいと思います。

要支援・要介護者数は547名その費用は約8億3千万円。5年後10年後の認定者数の見込みは。

健康福祉課長 認定者数は横ばいと考えています。

質問 温泉プールは町民の健康寿命延伸・医療費・介護保険費用等の抑制に大きな効果が期待できると思うが今後の町の考え・対応は。

質問 1月28日、温泉プール建設にかかわる要望書と660名の署名が提出された。要望理由として温泉プールの水中運動で、関節痛が楽になった・風邪を引きにくくなった・コレステロール値が低下した等、健康状態の改善に顕著な効果があり、医療費の抑制や予防医療・住民福祉の観点から非常に優れたものがあり、多くの町民が恩恵を受ける事ができる。温泉プールは、高齢者は勿論、働き盛りの人達のストレス解消・生活習慣病予防・小中高の水泳教室、妊婦・幼児の水中運動等、幅広い年齢層を対象にした

健康増進の場として活用できる等の内容だ。特に高齢の方は運動不足に伴う身体機能の低下等・運動疾患によるバランス・体力・移動能力の低下を期し最低限の日常生活も自立不能になり、健康寿命の短縮・閉じこもり・寝たきり等の要介護状態になって行く。文部科学省が平成21年度に行った新体力テストの結果によると男女共に40代後半から体力が低下することが判明した。南伊豆町全人口の実に73%がロコモティブ症候群と予備軍（運動器の障害により、要介護リスクが高くなる状態）だ。平成23年度、町の

産業観光課長 広域的な対応が必要な為、県・下田市と連携を図りながら導入を含めた検討をして行きたいと考えております。

※観光について質問し回答があった。（菜の花畑）



横嶋 隆二 議員

町長の政治姿勢

質問 助役・町議・町長を勤め、様々な政治課題の流れから今の街の到達点をどうとらえているか。

町長 昭和30年の旧村合併から半世紀余、この間毎年繰り返された水害昭和49年の地震などの困難を乗り越えて、先輩の努力によってこの町がある。こうしたことを念頭に、少子高齢化・多様化する住民ニーズを的確に把握しながら、将来に渡って活力ある魅力的なまちづくりで子孫・後世にこの町を引き継いでゆくため、それぞれの行政課題を各般にわたって計画実施推進を

してきた。財政については、依存財源の比率が高いため、分析に努め国・県の同行をよく見極めながら、いかなる事態でも対応できるように足腰の強いまちづくりを進めて行く。

質問 安部政権が誕生してアベノミクスが推進されているが、借金積み重ね。日本は、資本主義国のなかでも成長が止まった異常な状態。このもとで住民生活を支える行政課題の難しさがあるが、1995年阪神大震災以降の教訓であった、公共施設の100%耐震化。公立湊病院の新築。市町村合

併。岩崎産業との訴訟問題。という大きな波を経て、南伊豆町を残し、保育園・幼稚園の耐震化、役場庁舎の新築耐震化、下田メディアカルセンターの開院、石廊崎裁判の解決を成し遂げてきたことは非常に重要なこと。この到達点に対する認識は。

町長 合併問題のさなかに就任し合併問題、病院問題と一町だけではなく、広域で取り組む課題の難しさを体験、医療を繋げることができ、ジャングルパークの問題も6月の土地買収を持って落ち着く。認定こども園・役場庁舎建設も、職員が一



丸となり行革・予算編成に取組み厳しい財政の中優先順位選択のやりくりをして取り組み、議会の理解も得てきた結果だ。

質問 自分の意思だけではできない非常に困難な課題に立ち向かってきた町長の基本的政治姿勢は。

町長 ①町民参加のまちづくりー町民の声に謙虚に耳を傾けるー②融和と協調ー「和をもって貴しとなす」③簡素で効率的な行政運営ー決しておることなく簡素でありたい。という三つの政治信条を掲げて臨んできた。職員一人一人が協力し実践してきた。今後とも謙虚な姿勢で政治に取り組んでゆく。

教育の現状・課題と展望

質問 こどもの健全な成長を促すうえで、教育現場と社会の役割、地域の位置づけ。地域を発展させつないでゆくという点で、系統的



にこどもたちに、国家や地域との結びつきを教育するESD (Education For Sustainable Development) 持続発展教育)の観点・位置づけが非常に重要だがどう認識している。

で5名が資格取得した。今後とも有資格者の増員に努めてまいりたい。



公募による補助金制度

質問 効果はどのようなものがあったのか。

総務課長 南伊豆町きらりと光るまちづくり事業支援補助金の募集は、町の広報誌、ホームページ、地元の新聞等により、周知をしている。平成20年4件、21年6件、22年7件、23年7件、24年9件となっている。この補助金により自立し、まちづくりに寄与している団体も育つて。今後とも事業により意欲のある団体を支援し、地域振興等の推進を図ってまいりたい。

石廊崎の再開発について



清水 清一 議員

質問 石廊崎ジャングルパーク跡地の裁判も終わり、町は石廊崎再開発や活性化の取り組み等、どのように考えているのか。

町長 売買対象の土地は町の所有にまだなっておりません。測量や分筆登記による売買範囲の確定、仮契約の締結、財産取得の議決、土地の登記、売買代金の支払いが完了後、町民や有識者等のご意見等伺い、早急に、観光地石廊崎の再生のために全力で取り組む。

質問 分筆や測量、立ち会い等の進み具合は。

企画調整課長 和解条項案に従い、4カ月以内を目途に測量作業を進めている。

質問 石廊崎再開発、活性化のための検討委員会を立ち上げて動いてもらいたい。

町長 まだ人様の土地である、町有地になった段階で早急に検討委員会を立ち上げて取り組んでいきたい。

地域振興の進め方

質問 魅力あるまちづくり

を実現するために、町道等の整備等は。

町長 平成25年度からの社会資本総合整備計画で町道石井14号線の拡幅や町道加納前野原線の歩道。橋梁は昨年度から長寿命化修繕計画策定に取り組み、耐震補強や補修を行い、適切かつ効率的な社会資本の整備その維持管理に努めたい。

質問 一条横川線の状況はどうなっているのか。

建設係長 近隣市町の下田と1月に県の道路局等を交えた中で、今後の進め方について進めている。

質問 町道は木の生い茂げが激しい、どう対策を練っているのか。

建設係長 主要12路線は、毎年草刈り等行い、25年度からは、伐採をかける。

防災対策について

質問 湊地区の津波避難タワーの建設は、他地区はどのようなにしているのか。

防災室長 津波避難タワーは、高さ12m、収容人数1000人の施設規模、今年の早期完成を目指している。湊区以外の海岸地区は、安全な避難場所となる高台が確保されている、現時点での設置の計画はありません。

質問 避難道整備の費用とかは、どのような形で補助をしているのか。

防災室長 補助率も上げ、地区で自主的に取り組む事業に対し、町も補助金の制度を展開させている。

質問 防災士の資格を町民へと取得させる考えは。

防災室長 職員2名が資格を取得し、来年度2名を予定している。町内では県のふじのくに防災士養成講座

議会事務局人事異動



総務課防災室長
大年 美文

議会事務局から総務課防災室に移動になりました。よろしくお願ひします。



議会事務局主幹
佐藤 禎明

建設課から議会事務局に移動になりました。よろしくお願ひします。

議会を聴きにきませんか

議会は町の予算や身近な問題などを話し合う大切な会議です。あなたも議会を傍聴してみませんか？

1年に4回の
定例会が開か
れます。

- 3月定例会（新年度の町会計の予算の審議が主です）
- 6月定例会（町政の進捗状況の確認などです）
- 9月定例会（前年度の町会計の決算審議が主です）
- 12月定例会（町事業の進捗状況の確認などです）

手続きは当日、住所、氏名等の記載で傍聴できます。午前9時30分から開会します。

●お問い合わせは議会事務局へ TEL 0558-62-6240



議会一〇メモ

一票の格差

民主主義の原則は1人一票で、一票の重さは同等であるべきです。しかし、人口変動に合わせて、議員定数の再配分や選挙区の区割りの変更が行われない限り、議院1人当たりの有権者数が選挙区によって違ってくる。つまり、有権者1人の持つ一票の重さが異なってくる。これを「一票の格差」と言います。例えば、昨年12月の衆院選での「一票の格差」は、小選挙区間

で有権者数が約20万4千人の高知3区と約49万5千人の千葉4区の間で2.43倍ありました。

因みに、この「一票の格差」は、「法の下での平等」に反するとして、各地で訴訟が提起されています。昨年12月の衆院選を巡って16件の訴訟が起これ、広島高裁で「違憲・選挙を無効」とする判決を皮切りに、14件は「違憲」と判断され、この中で2件は「選挙は無効」とまで踏み込まれた判決となつています。各高裁の判断を統一する最高裁判決は、今秋にも言い渡されます。

(吉)

南伊豆町交通指導員を募集しています。

交通指導員とは、南伊豆町における交通指導並びに交通安全思想の普及高揚をはかり、交通安全を保持することを目的としています。

【お問合せ】

南伊豆町役場 総務課 防災室
TEL 0558-62-6211



新年度がスタートし、各分野・各組織で新役員の活動が始まった。厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所の発表によると2040年の南伊豆町の人口は2010年と比べて38.2%減少すると推計された。高齢化率は49.2%に達するという。今と変らないまま27年過ぎるとこのような状況を迎えるという想定であるが、町民の意識と行動によつては、変えることができる。石廊崎の再開発・共立湊病院跡地利活用問題・新エネルギー活用・商店街の活性化等、解決すべき問題が多いだけに、解決した場合の可能性が広がることも期待できるはずだ。

勇往邁進（加）